

# — 静音タイプ組み付け時の注意事項 —

静音タイプのフライホイールには**6本のコイルスプリングが接着剤にて仮止め**されています。

**コイルスプリングの接着はあくまでクラッチを車両に取付けるまでの仮止め**ですので、接着がはがれることがあります。

もしコイルスプリングが取れてしまった場合は、市販の瞬間接着剤等で仮止めを行ってください。

接着剤を多く付けすぎますと、車両に取付けたときに接着剤が流れ出し、切れ不良になる場合や、コイルスプリング側面が接着されて、コイルスプリングが破損する場合があります。

あくまでクラッチを車両に取付けるまでの仮止めですので、**極少量の接着剤**で接着してください。**クラッチ組立後は接着が取れても、コイルスプリングが飛び出すことはありません。**

クラッチを車両に取付ける際には、**コイルスプリングに無理な力を加えないよう**に注意してください。

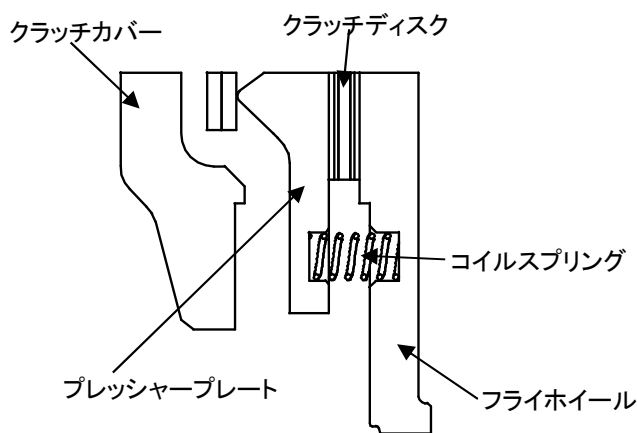
コイルスプリングに無理な力を加えると、コイルスプリングが変形し、使用中に破損する場合があります。

また、コイルスプリングの接着を無理にはがした場合も、コイルスプリングが変形し、使用中に破損する場合がありますので、**変形したコイルスプリングの再使用はしないでください。**

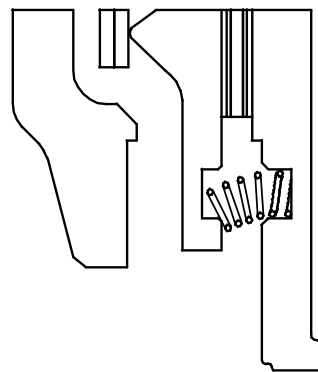
クラッチを組立時に、**6箇所すべてのコイルスプリングがフライホイールとプレッシャープレート**の穴に正常に入っていることを確認してから、クラッチカバーを取付けしてください。

クラッチカバーの9本のボルトを仮止めした後、**再度すべてのコイルスプリングがフライホイールとプレッシャープレートの穴に入っていることを確認**し、クラッチカバー取付けボルトを規定トルクで締め付けてください。

**コイルスプリングが正常に穴に入っていない場合、コイルスプリングが破損しトラブルの原因となる可能性があります。**



正常な組み付け状態



コイルスプリング取付け不良一例